

# 研究発表会開催通知

(昭和 61 年 8 月 15 日～9 月 30 日)

研 究 会	日	時	会 場	備 考
オペレーティング・システム	9月12日(金)	9:30~17:00	機械振興会館	下記参照
記 号 処 理	9月16日(火)	13:30~17:00	津 田 塾 大	同 上
情 報 シ ス テ ム	9月16日(火)	13:30~17:00	機械振興会館	同 上
日 本 語 文 書 処 理	9月17日(水)	13:30~17:00	日本 IBM	同 上
知識工学と人工知能	9月18日(木)	9:30~17:00	機械振興会館	同 上
コンピュータビジョン	9月18日(木)	13:00~17:00	東大・生研	同 上
自然言語処理	9月19日(金)	13:30~17:00	KDD 研	同 上
データベース・システム	9月19日(金)	13:30~17:00	オームビル	同 上
ソフトウェア工学	9月24日(水)	10:00~16:30	阪 大	同 上
情報学基礎	9月26日(金)	13:30~17:00	機械振興会館	同 上
マイクロコンピュータ	9月27日(土)	13:30~17:00	東京電機大	同 上
マルチメディア通信と分散処理	9月29日(月)	13:00~17:00	機械振興会館	同 上
ソフトウェア基礎論	9月30日(火)	14:00~16:40	広 島 大	同 上

## ◆ 第 32 回 オペレーティング・システム研究会 (発表件数：4 件)

(主査：亀田壽夫，幹事：紀 一誠，野口健一郎)

**日 時** 昭和 61 年 9 月 12 日 (金) 午前 9 時半～午後 5 時  
**会 場** 機械振興会館 6 階 67 号室  
 (東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄：日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, 国電：浜松町下車, バス：渋谷ー東京タワー線東京タワー, 渋谷ー東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (434) 8211)

- 議 題** 特集：オペレーティングシステム (OS) の記述法の評価
- (1) OS 記述論 野口健一郎 (日立)  
 [概要] OS 記述には、いくつかの目的および側面があり、それに対応した手法がある。それらを整理して論ずる。
  - (2) 並列処理機能をもつプログラミング言語 CHILL による OS の記述 久保田稔 (NTT 通研)  
 [概要] 高多量実時間システムである交換プログラムの OS を、並列処理機能をもつ CHILL で記述した手法と評価について述べる。
  - (3) OS/omicon 第 2 版とシステム記述言語 C 屋代 寛, 中川正樹, 高橋延匡 (農工大・工)  
 [概要] システム記述言語 C 処理系 cat との関連を中心に OS/omicon 第 2 版の

アーキテクチャについて述べる。

- (4) Modula-2 による OS の記述能力について 木下佳樹 (東大・理)  
〔概要〕 Modula-2 による相互排除他の通信プリミティブの記述例をとおしてその記述能力について論ずる。Module 概念が OS の構造に与える影響についてもふれる。
- (5) パネル討論

OS の記述法について、参加者のご意見をも交えて議論する機会を設けます。OS の各記述法のよしあし、OS の記述法の評価はどのようにすべきか等の問題からはじめて、OS の研究はどうあるべきか、OS の教育をどうすべきかなどの問題にまで議論が及ぶものと予想されます。

#### ◆ 第 40 回 記号処理研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 和田英一, 幹事: 井田昌之, 小川貴英, 元吉文男)

- 日時 昭和 61 年 9 月 16 日 (火) 午後 1 時半～5 時  
会場 津田塾大学 本館 第一会議室  
〔小平市津田町 2-1-1, 西武国分寺線: 鷹の台下車, 玉川上水沿に徒歩 8 分, 中央線: 国分寺(北口)下車, 国分寺車庫から西武バス小川上宿美大前行, 津田塾大学前下車. Tel. 0423 (41) 2441, 内線352〕
- 議題 (1) Nat (Nonalgorithmic translator) の概要

沼尾正行, 志村正道 (東工大・工)

〔概要〕 ルールの合成と分解による学習の実験用に開発した, 項書き換え型のプロダクションシステムの概要を述べる。

- (2) Gröbner Basis of a Module over  $K[x_1, \dots, x_n]$  and Polynomial Solutions of a System of Linear Equations

古川昭夫 (都立大・数学), 佐々木建昭 (理研), 小林英恒 (日大・数学)

〔概要〕 イデアルの Gröbner 基底論を多項式のベクトルを要素とする加群に拡張し, それを利用して, 多項式係数線形連立方程式の多項式解を効率的に算出する方法を導く。

- (3) Gröbner 基底による代数的関係と GCD の計算法

佐々木建昭 (理研), 古川昭夫 (都立大・数学)

〔概要〕 与えられた多項式間に成立する代数的関係を, 存否も含めて効率的に計算する方法を中心に述べる。

- (4) 数値・数式混合計算のための FORTRAN と LISP の一結合方式

佐藤三久 (東大・理), 鈴木正幸, 福井義成, 佐々木建昭 (理研)

〔概要〕 実現が容易でかつ有望と思われる, 異種言語結合方式を提案し, 数値・数式混合計算の観点から FORTRAN と LISP の結合を具体的に論じる。

#### ◆ 第 12 回 情報システム研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 浦 昭二, 幹事: 松谷泰行, 橋本茂司, 山本毅雄)

- 日時 昭和 61 年 9 月 16 日 (火) 午後 1 時半～5 時  
会場 機械振興会館 6 階 65 号室 (所在地は前記参照)
- 議題 (1) 首都圏電車網における巡回経路探索システム

加藤誠己, 高木啓三郎 (上智大・理工)

〔概要〕 複数の地点を一巡する最短時間経路を分岐限定法を用いてパーソナルコンピュータで探索するシステムについて述べる。

(2) 首都圏電車網最短時間経路案内システム

加藤誠己 (上智大・理工)

〔概要〕 首都圏電車網の乗換時間、待ち時間を考慮に入れた第  $k$  番目までの最短時間経路をパソコンで探索するシステムについて述べる。

(3) 電算機利用によるプレス型曲面仕上援助システム

新木廣海 (トヨタ自動車)

〔概要〕 プレス型曲面をオンラインで測定し、測定値と数値モデルの差違を GX 上に表示し、曲面仕上作業を援助するシステム。

(4) 三次元 CAD/CAM システム CATIA とその適用例

渡辺 渉 (日本鋼管)

〔概要〕 三次元統合 CAD/CAM システムである CATIA の特徴を紹介し、自社における適用を述べる。

(5) 半没水双胴型実験船「かいよう」に搭載の自動船位保持装置について

沼田光政 (海洋科学技術センター)

〔概要〕 船位、方位および外力を入力することにより、自船位置、船首方位を所定の範囲内に制御・保持する装置。

◆ 第 8 回 日本語文書処理研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 山田尚勇, 幹事: 坂下善彦, 首藤正道)

日 時 昭和 61 年 9 月 17 日 (水) 午後 1 時半～5 時

会 場 日本アイ・ビー・エム サイエンス・インスティテュート 2 階会議室

〔東京都千代田区三番町 5-19 第 36 興和ビル, 地下鉄: 半蔵門線: 半蔵門下車 徒歩 5 分, 新宿線: 九段下車 徒歩 10 分, 国鉄中央線, 総武線: 市ヶ谷下車 徒歩 10 分. Tel. 03 (265) 4255〕

議 題 (1) 日本語文の形態素解析アルゴリズム

吉村賢治, 渡辺美津乃, 津田健蔵, 首藤公昭 (福岡大・工)

〔概要〕 多段階に表を展開する表方式のアルゴリズムを用いた漢字仮名混り日本語文の形態素解析について述べる。

(2) 仮想キー併用のブラインド・タッチ型キーボードの一提案

森田正典, 島田俊夫 (日電) 北崎俊郎 (日本電気エンジニアリング)

〔概要〕 仮想キーを採用することにより、入力のみならず、編集作業をも含めてブラインドタッチ可能な新しいタイプのキーボードについて述べる。

(3) ワープロ利用者の思考時間に関する統計的模型

木村 泉, 粕川正充, 谷越浩一郎 (東工大・理)

〔概要〕 ワープロ利用者が費やす思考時間の分布を解析し利用者の頭の働きに関する統計的模型を提案する。

(4) パソコン用鍵盤の打鍵所要時間と思考時間模型

粕川正充, 木村 泉 (東工大・理)

〔概要〕 パソコン用鍵盤の各キーのなまの打鍵所要時間を計測し、これをもとにワープロ利用者の思考時間模型を精密化する。

(5) 日本語文書校正支援システム CRITAC

鈴木恵美子, 武田浩一, 藤崎哲之助 (日本IBM)

〔概要〕 文法チェックとは異なる文書の校正知識を開発し Prolog 上で実現した。

◆ 第 48 回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数: 11 件)

(主査: 堂下修司, 幹事: 西田豊明, 米澤明憲)

日 時 昭和 61 年 9 月 18 日 (木) 午前 9 時半～午後 5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 研修 1 号室 (所在地は前記参照)

議 題 9: 30～11: 50 (4 件)

(1) データベースの論理設計を支援する知的インタビュシステム

川口敦生, 溝口理一郎, 山口高平, 角所 収 (阪大・産研)

〔概要〕 プランニング及び抽象概念に関する知識とインタビュによってデータベースの論理設計を支援するシステム。

(2) 知識コンパイラの構成とその応用

小高 浩, 溝口理一郎, 山口高平, 川口敦生, 野村康雄

角所 収 (阪大・産研)

〔概要〕 「深い知識」を利用して診断に関する専門知識を自動生成する機構と説明機能および知識獲得支援機能への応用。

(3) プロダクションシステムによる意味ネットワークの探索

石田 亨, 古屋博行, 赤埴淳一 (NTT 通研)

〔概要〕 意味ネットワークをプロダクションシステムで表現し, 効率良く探索する方法について述べる。

(4) 継承階層コンパイラ

赤間 清 (北大・文)

〔概要〕 継承階層情報のコンパイルによる高速化の方式と, 多重継承などの知識表現力の増加について述べる。

12: 50～15: 10 (4 件)

(5) 帰納的学習システム LS/1 による翻訳の学習 赤間 清 (北大・文)

〔概要〕 帰納的学習システム LS/1 を簡単な文の翻訳の学習に適用した例を報告する。

(6) 解答の正誤を判定する回路知識の表現法

渡辺成良, 兵藤光夫 (群馬大・工)

〔概要〕 電気回路演習問題に対する解答に含まれる誤りを回路法則や回路データ等の知識によって発見する方法について。

(7) 動的因果関係解析法による電子回路の定性的解析

西田豊明, 川村 正, 堂下修司 (京大・工)

〔概要〕 電子回路における変数の不連続な変化を解析できるよう従来の定性的推論法を拡張したシステムについて述べる。

(8) 児童図書館読書相談エキスパートシステム

田中芳彦 (CSK 総研), 杉本重雄, 田畑孝一 (情報大)

〔概要〕 利用者の年齢, 興味, 情感等を分析し, 適切な図書を選択する幼児・児童向き読書相談エキスパートシステム。

15:15~17:00 (3件)

(9) 環境モデルにおける物体の見え方の知識

松原 仁(電総研), 伊庭斉志, 井上博允(東大・工)

〔概要〕 知能ロボットの環境モデルにおける物見え方の知識の一表現法とそれを自動的に推論する過程について述べる。

(10) 音声理解システムにおける単語予測方式 —island driven 法について—

渦原 茂, 小林 豊, 新美康永(京都工芸繊維大・工芸)

〔概要〕 自然言語処理における BUP を音声理解システムの単語予測に応用する方法について報告する。

(11) 基における問題解決モデルについて 白柳 潔(NTT 通研)

〔概要〕 相手の着手あるいは盤面全体から人間が次の一手を導出するまでの思考形態に対して, 一つのモデルを提案する。

#### ◆ 第44回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 白井良明, 幹事: 松山隆司, 吉田真登)

日時 昭和61年9月18日(木) 午後1時~5時

会場 東京大学生産技術研究所 第1会議室(3F)

〔東京都港区六本木 7-22-1, 地下鉄: 千代田線乃木坂下車すぐ, 日比谷線六本木下車徒歩6分 Tel. 03(402)6231 内線2644〕

議題 (1) 手話動画認識システム 田村進一, 川崎伸悟(阪大・基礎工)

〔概要〕 手話の手の動きと指の形の記述を行う。このような手話辞書をもとに, 手話単語ビデオの認識・分類を行う。

(2) エッジ対応に基づく3D物体認識

玉野隆一, 佐藤嘉伸, 田村進一(阪大・基礎工)

〔概要〕 画像エッジと3Dモデルエッジの対応を基に, 一般化 Hough 変換による仮説生成および仮説の検証・精緻化を行う手法について述べる。

(3) Rainbow Range Finder による距離画像取得 田島譲二(日電)

〔概要〕 スペクトルパターンを投光し, 三角測量の原理で画像の各画素について高速に距離を得る手法を提案する。

(4) フラクタル次元と低次統計量を用いた気象衛星画像のテクスチャ解析

中山 寛, 曾根光男, 高木幹雄(東大・生研)

〔概要〕 フラクタル次元と低次統計量を用いて気象衛星画像のテクスチャ解析を行い, 雲と雪の分類に有効な結果を得た。

(5) 自動入力図面の自動整形と会話型修正システム

大沢 裕, 滝嶋康弘, 坂内正夫(東大・生研)

〔概要〕 図面自動入力システム AI-MUDAMS の入力図面の自動整形処理と会話型修正システムについて述べる。

(6) 見学: 坂内研究室, 石塚研究室

#### ◆ 第57回 自然言語処理研究会

(発表件数: 5件)

(主査: 吉田 将, 幹事: 田中穂積, 野村浩郷, 日高 達)

日時 昭和61年9月19日(金) 午後1時半~5時

会場 KDD 研究所 大会議室

〔東京都目黒区中目黒 2-1-23, 国鉄: 恵比寿(西口)下車, 三井銀行左入る, 道な

りに直進 7 分. Tel. 03 (794) 8440]

- 議 題**
- (1) 差集合に基づく DCG について 田中卓史 (国立国語研)  
〔概要〕 語順をもたない言語を考えると, 文は語の集合となる. 集合型言語を解析する DCG について述べる.
- (2) ロジックプログラミングをベースにした自然言語処理システムの比較  
杉村領一, 奥西稔幸 (ICOT), 田中穂積 (東工大・工)  
清野正樹 (松下電器)  
〔概要〕 ロジックプログラミングをベースにした自然言語処理システムを機能と速度の面から比較した結果について述べる.
- (3) 意味的なつながりを考慮した接尾語辞書の作成について  
稲永紘之 (九州工芸大), 新谷隆之 (日本ユニバック)  
〔概要〕 自立語と接尾語の接続関係を収納する接尾語辞書の作成について述べる.
- (4) 計算機用動詞辞書における意味記述の枠組について  
村田賢一 (情報処理振興事業協会)  
〔概要〕 動詞の意味を記述するための枠組について試案を作成し, 日本語と英語について記述の試行を行っており, 中間結果を報告する.
- (5) ザールブルュッケンにおける機械翻訳国際会議報告  
長尾 真, 中村順一 (京大・工)  
〔概要〕 8 月 20 日~22 日に西独ザールブルュッケンにおいて開催された機械翻訳に関する国際会議について報告する.

◆ **第 55 回 データベース・システム研究会** (発表件数: 4 件)  
(主査: 上林弥彦, 幹事: 石井義興, 鈴木健司, 三浦孝夫)

**日 時** 昭和 61 年 9 月 19 日 (金) 午後 1 時半~5 時  
**会 場** オームビル 地下 1 階 第 1 ゼミルーム  
〔東京都千代田区錦町 3-1, 地下鉄東西線: 竹橋下車徒歩 5 分,  
Tel. 03 (233) 0621, 内線 223 オームゼミルーム〕

- 議 題**
- (1) DSS 用 DB の開発とソフトウェア品質分析への応用 久野 茂 (日電)  
〔概要〕 現在, われわれは情報フィルタという関数型の検索インタフェースをもつ DSS 用 DB システムを構築中である. 本発表ではこのシステムの概要とソフトウェア品質分析への応用について報告する.
- (2) 先読みスケジューラを用いた分散型データベースシステムの並行処理制御 (2)  
原嶋秀次 (豊橋技科大), 茨木俊秀 (京大・工)  
〔概要〕 先に報告した結果をコピーファイルを許す場合に拡張し, やはり直列化可能なスケジュールのみを, デッドロックを生じることなく出力することを示す.
- (3) 版数制限をもつ先読みスケジューラ  
武田真人, 増山 繁, 茨木俊秀 (京大・工)  
〔概要〕 先読みスケジューラのあるクラスについて,  $k$  版モデルに対しても多項式時間で実行できることを示し, その能力を比較する.
- (4) マルチメディア・データベースシステム—映像・画像の被写体被写区域

検索一 金世良, 打浪清一, 手塚慶一 (阪大・工)

〔概要〕 写真, ビデオ等でイベント情報を収集, DB 化し, 被写体, 被写区域を指定し, 関連画像を検索, 確認できるシステムを述べる.

◆ 第 50 回 ソフトウェア工学研究会 (発表件数: 6 件)

(主査: 花田收悦, 幹事: 落水浩一郎, 紫合 治, 春原 猛)

日 時 昭和 61 年 9 月 24 日 (水) 午前 10 時~午後 4 時半

会 場 大阪大学基礎工学部 情報工学科ゼミナール室

〔豊中市待兼山町 1-1, 国鉄: 大阪下車, 乗換阪急宝塚線: 石橋下車, 東南徒歩 18 分, または大阪空港よりタクシー 3 km. Tel. 06 (844) 1151〕

議 題 (1) タイミング制御を取入れたデータフロー図に基づく論理モデル作成方法  
橋本恵二 (富士通)

〔概要〕 主にビジネスシステムを対象とした要求定義技法を提案する. データフローに制御を取入れたモデルによってシステムの論理構造を記述する.

(2) ソフトウェア設計図式用グラフィックスシステム

則房雅也, 萩原規子, 小松久美, 紫合 治 (日電)

〔概要〕 ソフトウェア開発で利用される種々の図式を作成でき, 作成した図式を解析できるグラフィックスについて述べる.

(3) ポインティング手法についての評価

竹村治雄, 辻野嘉宏, 荒木俊郎, 都倉信樹 (阪大・基礎工)

〔概要〕 VDT 画面上のメニュー及び特定の場所をポイントする場合の入手法と効率の関係について実験結果をもとに論じる.

(4) 構造化プログラミング支援エディタとその環境

太田 剛, 落水浩一郎 (静岡大・工)

〔概要〕 構造エディタ, マルチウィンドウ表示, 代替案の圧縮蓄積, コード生成等の機能を有する環境の試作例.

(5) テスト投入労力の記述とソフトウェア信頼度成長モデル

山田 茂 (岡山理大・工)

〔概要〕 ワイブル曲線により記述されるテストへの投入労力を組み込んだソフトウェア信頼度成長モデルを議論する.

(6) プログラム作成能力の評価尺度とデータ収集ツール

松本健一, 大西 論, 工藤英男, 杉山裕二, 鳥居宏次 (阪大・基礎工)

〔概要〕 プログラム作成能力を評価する尺度の提案と, その評価値をもとめるためのデータ収集ツールについて報告する.

◆ 第 2 回 情報学基礎研究会 (発表件数: 4 件)

(主査: 藤原 譲, 幹事: 有川節夫, 富永英義, 中村史朗)

日 時 昭和 61 年 9 月 26 日 (金) 午後 1 時半~5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 研修 1 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 3 次元構造作成/加工のための化合物データ表現

小出昭夫 (日本 IBM)

〔概要〕 3 次元構造の作成や加工に適した, 有機・無機の分子やイオンのデータ表現について述べる.

(2) コミュニケーションに関する知識の体系化について

平林扶佐子, 笠原 裕 (日電 C&C 研)

〔概要〕 マンマシン対話, マルチメディア・ドキュメンテーションシステムを例に, コミュニケーションに関する知識の体系化の必要性とそのアプローチについて述べる.

(3) 知識ベース管理システム KBAF: スキーマ定義不要の推論検索データベース

近藤秀文, 小口琢夫 (日立・シ研)

〔概要〕 スキーマの定義不要でデータの蓄積を行い, 検索時にも蓄積構造は意識せずに問合せが行えるシステムについて述べる.

(4) ユーザ指向型データベース高次利用システムについて

木村龍英, 石部 保, 長田孝治 (日本総合技術研究所)

守屋慎次 (電機大・工), 中井 浩 (常磐大・人間科学)

〔概要〕 多データベース, 多アプリケーションシステムにおけるユーザオリエンティッドなデータベース高次利用システムについて述べる.

◆ 第41回 マイクロコンピュータ研究会

(発表件数: 3件)

(主査: 安田寿明, 幹事: 岡田義邦, 斉藤 剛, 若鳥陸夫)

日 時 昭和61年9月27日(土) 午後1時半~5時

会 場 東京電機大学 7号館 7803B教室

〔東京都千代田区神田錦町 2-2, 地下鉄: 新御茶の水, 小川町淡路町下車, 国鉄: 御茶の水, 神田下車, 徒歩10分. Tel. 03 (294) 1551〕

議 題 (1) JUST・PC 推奨通信方式によるマルチメディアステーションの実現

山田 剛 (早大・理工)

〔概要〕 郵政省推奨のパーソナルコンピュータ通信規約によって, G3/G4 ファクシミリとパーソナルコンピュータ間の通信が可能かどうかを検討し, 実験研究による評価を発表する.

(2) 情報交換用漢字符号系支援の BBS プログラム (Pascal 版)

若鳥陸夫 (日本ユニパック)

〔概要〕 TURBO-Pascal により, 電子掲示板システムをマイコン上に構築してみた. その通信制御部の記述は, 無人無停止運転を実現するため, ガーデッド通信コマンドル機構を使用した. また, 内部符号と情報交換用漢字符号系の相互交換は, 2段階テーブルルックアップ法で実現した. さらに, ファイル更新手法も工夫し, その更新速度を高めた.

(3) BASIC からのパケット・プロトコル通信 丸丸哲朗 (日本ユニパック)

〔概要〕 多機能端末の BASIC 言語処理系から DDX 網のパケット端末として通信を行った. この S/W 構成, 適用例を紹介する.

◆ 第31回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 野口正一, 幹事: 浦野義頼, 河岡 司, 白鳥則郎)

日 時 昭和61年9月29日(月) 午後1時~5時

会 場 機械振興会館 地下3階 研修1号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) SIMPOS (逐次型推論マシン PSI の OS) —ユーザ・インタフェースと  
その特徴—

佐藤裕幸, 近山 隆, 石橋弘義, 吉田かおる  
佐藤正俊, 内田俊一 (ICOT)



〔概要〕 SIMPOS は、日本語処理機能を持ったエディタやデバッグ等により優れたユーザ・インタフェースを提供しており、ネットワークによる通信機能が充実している。

(2) AI ワークステーション ELIS の検討

山田康宏, 大野邦夫, 日比野靖, 竹内郁雄 (NTT 通研)

〔概要〕 ELIS を小形化し、AI ワークステーションとして使用するためのハード面、ソフト面に関する必要条件とその対応策について述べる。

(3) マルチプロセッサ指向高機能リアルタイム OS の一構成法

横畑静生, 青木久延, 杉田由美子 (日立)

〔概要〕 機器組み込み用から会話処理用まで広範囲の分野に適用できるマルチプロセッサ指向の OS の構成法について報告する。

(4) 分散型問題解決システムの一考察 山崎清明 (沖電気)

〔概要〕 演繹データベースシステムを L. A. N により結合した分散型問題解決システムのプロトタイプ開発を試みた。本稿ではその概要を報告するとともに、今後の技術課題、OA への応用等を論ずる。

(5) オフィスの共同作業 (会議) 支援のための知識・情報ネットワーク

阪田史郎, 上田鉄雄, 鈴木 晋, 永井義裕 (日電)

〔概要〕 オフィスにおける共同作業を、オフィスに分散する業務知識・情報の流通・収集を促す手段として位置づけ、その支援のためのネットワークシステム概念および実現形態について述べる。

(6) 自然言語によるデータベース検索 鳴海 馨, 泉田義男 (富士通)

〔概要〕 自然言語処理のデータベース検索への適用を通して、知的インタフェースに対する考察を行う。

◆ 第 18 回 ソフトウェア基礎論研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 広瀬 健, 幹事: 佐々政孝, 所真理雄, 新田克己)

日 時 昭和 61 年 9 月 30 日 (火) 午後 2 時~4 時 40 分

会 場 広島大学工学部 B1-103 教室

〔東広島市西条町大字下見, 山陽本線: 西条下車, バス: 大学会館行き (10 分) 終点下車. Tel. 0824 (22) 7111〕

\*新幹線広島駅からキャンパスまで 1 時間程度

議 題 (1) Prolog 述語 (呼び出し) の決定性について 沢村 一 (富士通 国際研)

〔概要〕 a-決定性と r-決定性と呼ばれる二つの決定可能な述語呼び出しの部分クラスを導入し、同値であるがそれらとは異なった定義法及びそれらの性質、拡張法等について述べる。

(2) 結合子による並列リダクション 堀 有, 広川佐千男 (静岡大・工)

〔概要〕 結合子にプロセッサの起動を制御する機能を持たせ、lazy がかつ eager な並列リダクションの戦略 (reduction strategy) を示す。

(3) Definite Clause Graph Grammar: 論理プログラミングのためのグラフ文法 塩谷 勇, 中村克彦 (電機大・理工)

〔概要〕 グラフ構造の解析のために DCG を自然な方法でグラフに拡張した文法を提案し、その構文解析を述べる。

- (4) オブジェクト指向言語 Ondine の抽象化機構 萩原剛志 (山梨大・工)  
〔概要〕 新たに作成したオブジェクト指向システム Ondine について、クラス定義、型の導入を中心に報告する。

◆ オペレーティング・システム研究会

論文募集：

第33回、第34回 研究会を下記のように開催する予定です。発表希望の方は学会事務局研究会係へ期日までにご送付（タイトル・50字程度の概要・連絡先等）ください。（より詳しい概要も付けていただければ幸いです。）

★ 第33回 研究会

日 時 昭和61年12月12日（金）午前10時  
会 場 神戸大学工学部 システム工学科  
テ ー マ OS 全般（OS と並列処理，分散型 OS，AI と OS，OS の基礎概念（標準化関連など），OS の基礎理論（分散処理におけるデッドロック防止など），アーキテクチャ関連，など歓迎しますが，これらに限定しません。）

申込み締切 昭和61年9月10日（水）（必着）

★ 第34回 研究会

日 時 昭和62年2月27日（金）午前9時半  
会 場 機械振興会館  
テ ー マ システム性能評価

申込み締切 昭和61年11月15日（土）

◆ ソフトウェア基礎論研究会

第19回 研究会を12月12日（金）於機械振興会館で開催いたします。

特集「並行分散システムの記述と検証」

◆ グラフィクスと CAD 研究会

第23回 研究会を，全国大会終了後の10月4日（土）に於広島大学工学部にて開催いたします。奮って、ご参加ください。なお、詳細については、9月号（次号）を参照ください。

◆ マイクロコンピュータ研究会

第42回 研究会を11月21日（金）於機械振興会館で「文書交換特集」の予定で開催いたします。なお、発表希望の方は事務局研究会係まで送付（タイトル・50字以内の概要）願います。

◆ 数値解析研究会

第18回 研究会を10月4日（土）於京大・数解研で開催いたします。なお、詳細については9月号（次号）を参照ください。

◆ 研究発表会開催予定 (10月～62年3月)

(研究会名)

(開催日・会場)

自然言語処理	11月21日(金) 3月27日(金)	大分大 機・B3-2	1月23日(金)	大阪
データベース・システム	11月17日(月) 3月16日(月)	筑波大 機・B3-2	1月19日(月)	北大
知識工学と人工知能	11月11日(火) 3月12日(木)	機・B3-研1 機・B3-研1	1月16日(金)・17日(土)	京大
記号処理	11月10日(月) 3月	東京 NTT(武蔵野)	1月	未定
ソフトウェア工学	11月26日(水) 2月5日(木)	機・6-65 6日(金)	山形大	
マイクロコンピュータ	11月21日(金) 2月6日(金)	機・B3-1 電機大	12月19日(金)	大阪
計算機アーキテクチャ	10月下旬 3月13日(金)	東北大 機・B3-2	12月19日(金)	機・B3-2
オペレーティング・システム	12月12日(金)	神戸大	2月27日(金)	機・6-65
コンピュータビジョン	11月19日(水) 3月	KDD研 未定	1月16日(金)	京大
設計自動化	10月21日(火) 2月17日(火)	地方 機・B3-2	12月16日(火)	機・B3-1
マルチメディア通信と分散処理	2月中旬	東京		
日本語文書処理	11月12日(水) 3月4日(水)	電総研 機・B3-1	1月21日(水)	機・B3-1
グラフィクスとCAD	10月4日(土) 2月26日(木)	広島大 NHK技研	11月7日(金)	機・B3-研1
数値解析	10月4日(土) 3月	京大・数解 東京	12月5日(金)	機・B3-2
ソフトウェア基礎論	12月12日(金)	機・B3-研1	2月13日(金)	機・B3-2
情報システム	2月17日(火)	機・6-65		
プログラミング言語	10月17日(金) 2月13日(金)	名古屋大 東京	12月13日(金)	機・B3-2
情報学基礎	11月28日(金)	九大	12月1日(月)	機・B3-2
注) 機 - 機械振興会館				
* 各研究会に発表申込希望者は開催月の3カ月前に研究会発表申込書(本欄末添付)を事務局研究会係までご送付ください。				

## 欧文誌論文要旨(和文, 1 ページ)の和文論文誌への掲載について

このたび情報処理学会では, 欧文誌 JIP の採録論文を国内の読者にとって近づきやすいものとするため, 従来学会誌「情報処理」に掲載されてきた 300 字程度のアブストラクトに加えて, 「情報処理学会論文誌」に下記の要領で詳細な要旨を掲載することにいたしましたので, お知らせいたします。

1. 刷り上がりは, 論文誌 1 ページ分とする。
2. なるべく図, 表等を活用して, 中心的なアイデアがよく伝わり, 読者に本論文を読みたいという気持ちを起こさせるようなものとするのが望ましい。
3. この概要については, 掲載料等は徴収しない。ただし別刷は学会では作成しない。
4. 今後の投稿については, 掲載時に概要原稿を添付すること。また現在投稿中の論文については受理決定時に概要の作成を依頼する。
5. 国外の著者については英文で作成してもらい, 欧文誌編集委員会において和訳する。

## 昭和 61 年電気・情報関連学会連合大会について

標記連合大会(旧電気四学会連合大会)は, 昨年同様に特別講演, パネル討論およびシンポジウム講演により構成のうえ開催されます。

活発な質疑討論をとおして, みのりの多い大会となるよう多数の会員諸氏の参加をお願いします。なお, プログラム等詳細については前号本欄を参照ください。

期	日	昭和 61 年 9 月 10 日(水)~12 日(金)
会	場	中央大学理工学部(東京都文京区春日 1-13-2)
大会参加費		会員 1,000 円, 学生(大学院修士課程まで) 500 円, 会員外 1,700 円
懇親会		9 月 11 日(木) 午後 5 時 45 分より, 会場: サテライトホテル後楽園 会費: 一般 4,000 円, 学生 2,000 円
論文集予約締切		昭和 61 年 8 月 20 日(水) 厳守(この期日以後に注文書の到着したものは予約扱いとなりません。また, 電話による注文, 注文変更は受付いたしません。)
申 込 先		〒100 東京都千代田区有楽町 1-12-1 新有楽町ビル 電気学会内 電気・情報関連学会連合大会係 Tel. 03 (201) 0983

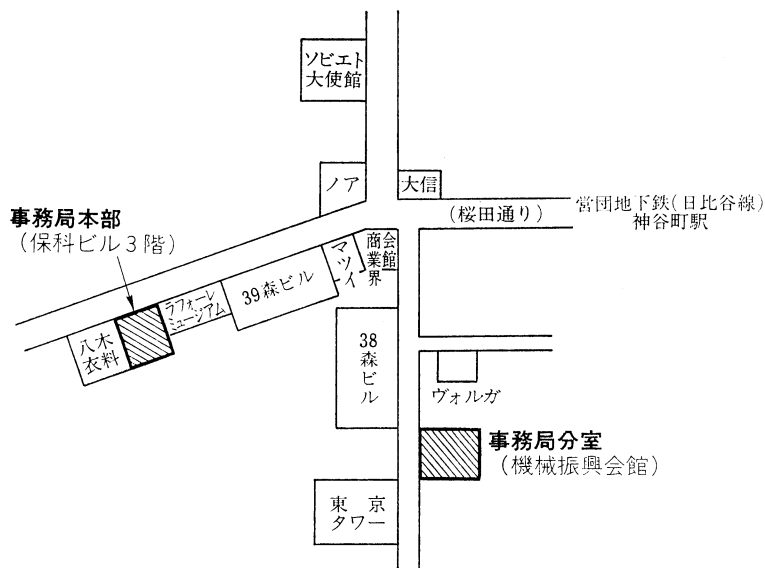
## 論文誌へのカラー頁導入についてのお知らせ

カラー写真を含む論文の投稿を可能にしてほしい、との要望を多くの会員よりいただいておりますが、論文誌編集委員会で検討を進めた結果、1カラー頁当たり、4通常頁分の別刷代をお支払いいただくことにより実現可能である、との結論に達しました。ただし、この条件のもとに実行に移すことにいたしますので、会員の皆さまの活発な投稿をお願いいたします。

## 事務所の移転について

前月号本欄でお知らせしましたように、7月から事務局は下記の通り、2つに分れて執務しています。念のため、お知らせします。

本 部	分 室
2階（会議室）、3階（事務室）	3階（308-3号室）
会員、編集、調査研究 全国大会、シンポジウム等	規格（ISO、JIS等）
〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505	〒105 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 Tel. 03 (431) 2808



## 第 33 回 全国大会（昭和 61 年後期）概要および論文集予約

**開催期日** 昭和 61 年 10 月 1 日(水)～3 日(金)

**会場** 広島工業大学（広島市佐伯区五日市町）

### プログラム

**一般セッション** 論文発表（申込 1,200 件）のプログラムの詳細は 9 月号に掲載されます。とくに登壇発表者は、発表の日時につき、ご確認ください。

**特別講演**（10 月 1 日 10：00～11：30）

感性と論理

吉田 夏彦(東工大)

**招待講演**（10 月 2 日 12：30～13：30）

シミュレーションの可視化

中前栄八郎(広島大)

**パネル討論**（2 件）

（10 月 1 日 12：30～14：45）

人工知能研究の目指すもの

（司会）大須賀節雄(東大)

（10 月 3 日 12：30～14：45）

視覚的プログラミング環境

（司会）市川 忠男(広島大)

### 参加費

**一般参加者** 大会当日会場にて受付けます（登壇論文発表者を除く）。賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。電子通信・電気・照明・テレビジョン各学会会員は本会会員扱いとします。会員 1,000 円 非会員 2,000 円

**講演参加者** 登壇発表者は原稿提出と同時に納入してください（原稿用紙は 6 月下旬に送付しました。原稿締切は 8 月 11 日です）。

1 件ごとに 7,000 円。ただし、登壇発表者には別刷 50 部および論文集 1 部を贈呈します。

### 論文集予約

予約を原則とします。前号綴込みの申込書により **9 月 1 日**までに事務局へお申込みください。予約価 5,000 円（定価 6,000 円） 送料 700 円

（予約者以外にお頒けできるのは、大会当日残部のある場合に限りです。）

### 懇親会

第 1 日目（10 月 1 日）、17 時 30 分より、広島工大・大学会館（3 階ホール）にて催されます。会費 3,000 円。

参加希望者は全国大会会場総受付にて当日受付けます。

### 見学会

マツダ(株)本社工場（予定）

10 月 2 日（木）14：00（広島工大発）～17：00（現地解散）

参加費無料、定員 100 名（バス 2 台）。参加希望者は「往復はがき」にて下記に申込みください。ただし、同業他社の方の参加はご遠慮ください。

申込先 〒724 東広島市西条町大字下見 広島大・工・第二类（電気系）内  
情報処理学会 中国四国支部事務局（担当 中村）

Tel. 0824 (22) 7111（内 3443）

### 学術奨励賞の表彰

前回(第 32 回)全国大会学術奨励賞受賞者の表彰を本大会時に行います。

### 宿泊案内

前号本欄参照

## 国際会議・シンポジウム等開催のお知らせ

下記の国際会議、シンポジウムおよび講習会がそれぞれ開催されます。多数の方々のご参加をお願いします。なお、プログラムおよび参加申込方法はそれぞれの掲載号を参照ください。

会 議 名	期 日・場 所	プログラム等 掲 載 号
「中等教育とマイクロコンピュータ」 国際会議	8月18日(月)～22日(金) 東京都立産業貿易センター	7月号
「第12回 VLDB」国際会議	8月25日(月)～28日(木) 国立京都国際会館	6月号
「アドバンスト・データベース・システム」 シンポジウム	8月29日(金)～30日(土) 機械振興会館大ホール (B2)	7月号
「コンピュータを用いた画像生成・表示の 基礎技法」講習会	9月16日(火) 機械振興会館大ホール (B2)	6月号

## 「インタオペラブルネットワーク」シンポジウム開催について

近年、オフィスオートメーション、テレマティックサービスなどの複数の異なるシステムを相互接続し、高度な分散処理が、マルチメディア通信技術やリソースの統合化技術と相俟って急速に進もうとしている。このような状況において、互いに独立な情報ネットワークを統合し、知的環境のもとで、ユーザへ提供するサービス空間を拡大するために必須となるインタオペラブルネットワークについて、基礎的な問題から応用事例まで、現状を総括すると共に、今後の技術動向を展望するシンポジウムを開催いたします。奮ってご参加ください。

日 時 昭和61年11月4日(火) 9:00～17:00

場 所 機械振興会館大ホール (地下2階)

参加費 正会員 6,000 円, 非会員 9,000 円, 学生会員 1,000 円  
(論文集のみ 2,500 円, 送料 300 円)

申込締切 昭和61年10月20日 (定員150名になり次第締切ります)

内 容 基調講演 分散処理とインタオペラビリティ  
招待講演 (1) OSIの技術動向とインタオペラビリティ  
(2) 電子計算機相互運用データベースシステムプロジェクト  
(3) OSI推進の国際動向

Session 1 ワークステーションと知的OA

Session 2 新しいネットワーク要素技術

Session 3 ネットワークソフトウェア

Session 4 高度情報通信サービス

昭和 61 年 月 日

「インタオペラブルネットワーク」シンポジウム  
参加申込書

(申込書は1人1枚とし、用紙はコピーで可)

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ 会員 No. \_\_\_\_\_

連絡先 (住所, 会社名, 所属) 〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

標記シンポジウムの参加を下記によって申し込みます。

○参加費 (該当するものを○印でかこむ)

正会員, 賛助会員 6,000 円 非会員 9,000 円 学生会員 1,000 円

○論文集のみ (2,500 円, 送料 300 円) 冊

○送金方法

\_\_\_\_\_円を \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日送金します (金額, 送金月日を記入のうえ該当する送金方法を○印でかこむ)。

a. 現金書留

b. 銀行振込 (いずれも普通預金口座) 名義人 東京都港区芝公園 3-5-8 社団法人 情報処理学会

第一勧銀虎ノ門支店 1013945

富士銀行虎ノ門支店 993632

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

三井銀行本店 4298739

住友銀行東京公務部 10899

三和銀行虎ノ門東京公務部 21409

請求書類の必要な方はお申出ください。

(No. )

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 \_\_\_\_\_

○送付先・問合せ先

情報処理学会「インタオペラブルネットワークシンポジウム」係

〒106 東京都港区麻布台 2-4-2 保科ビル Tel. 03 (505) 0505

研究会発表申込みについて

研究会発表申込書の様式が一部改訂されました (概要記入欄)。今後発表申込みされる方は新様式の申込書を使用してください (前号および本号 (本欄) に添付してあります)。なお、旧様式の申込書を使用の場合には、概要は必ず 50 字以内でご記入ください。



支 部 だ よ り

関 西 支 部

支 部 連 合 大 会 講 演 募 集

— 昭和 61 年電気関係学会関西支部連合大会 —

情報処理学会関西支部では、従来の支部大会に加えて、昨年から電気関係学会関西支部連合大会に協賛し、一般会員よりの自由な研究発表と学术交流の機会を得たいと考えています。奮ってご参加ください。

期 日 昭和 61 年 11 月 23 日 (日・祝), 24 日 (月・休)

会 場 立命館大学 (京都市北区等持院北町 56-1)

講演形式 シンポジウムおよび一般講演 (講演は 1 人 1 件に限る。OHP 以外は使用できない。)

講演申込金 正会員 2,500 円, 学生会員 2,000 円 (講演申込料: 1,500 円, 大会参加費: 正会員 1,000 円, 学生会員 500 円を含む)。講演者には大会次第書, 参加章および講演論文集別刷 50 部を進呈する。有料別刷は取り扱わない。

申込方法 所定の講演申込書およびそのコピー 2 部 (B5 判) に原稿を添え, 下記に申し込むと同時に, 講演申込金を所定の振替用紙により, 通信欄に論文題目など必要事項を記入のうえ送金のこと。論文不採択の場合は返金する。

採択された講演論文はそのままオフセット印刷して発行する。なお, 各論文とも 1 ページとする。

また, 「講演申込書」「原稿用紙」「振替用紙」などは, 下記要領の請求票と返信用切手 170 円 (2 件以上の場合は 1 件増すごとに 70 円増) 同封のうえご請求ください。なお, 請求票の送り先欄は正確に記入のこと。

申込締切 8 月 25 日 (月) 必着

申 込 先 〒603 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学理工学部内  
昭和 61 年電気関係学会関西支部連合大会実行委員会  
Tel. 075 (463) 1131 (振替口座番号 京都 1-16636)

請 求 票	講演申込書等一式を		組 請 求 し ま す
(ふりがな) 氏 名	勤務先	電話	
朱 り 殺	氏 名 ・ 出 氏	見 本	
15 cm			
5 cm			

# 九州支部

## 講習会の開催について

——計算機技術の動向／教育・研究・開発——

標記講習会を下記により開催いたします。多数の方々のご参加をお願いします。

日時	昭和61年10月18日(土) 9:00~17:30	
会場	九州大学工学部大講義室(地下鉄「箱崎九大前」より徒歩5分)	
定員	200名	
プログラム	開会(9:00~9:10)	有川 節夫(九大)
	支部長挨拶(9:10~9:20)	相良 節夫(九大)
	基礎と教育(9:20~10:10)	上林 弥彦(九大)
	ソフトウェア(10:10~11:00)	牛島 和夫(九大)
	アーキテクチャ(11:10~12:00)	富田 眞治(京大)
	マイクロプロセッサとメモリ(13:00~13:50)	藤高 一郎(日電)
	スーパーコンピュータ(13:50~14:40)	鈴木 滋(富士通)
	通産省大型プロジェクト「相互運用データベース」(14:50~15:40)	植村 俊亮(電総研)
	第五世代コンピュータ(15:40~16:30)	黒住 恭司(ICOT)
	情報工学部のめざすもの(16:30~17:20)	吉田 将(九大, 九工大)
	閉会(17:20~17:30)	松尾 文碩(九大)
	懇親会(18:00~)	

連絡先 〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学中央計数施設内  
情報処理学会九州支部 Tel. 092 (641) 1101 (内線 5985 (仲田))

..... き り と り .....

昭和61年 月 日

### 「情報処理学会九州支部講習会」参加申込書

申込者 氏名 \_\_\_\_\_ Tel. \_\_\_\_\_ 勤務先 \_\_\_\_\_  
住所(自宅, 勤務先, どちらかに○印をお付けください) 会員 No. \_\_\_\_\_  
〒 \_\_\_\_\_

○会費 対応する( )の中をチェックしてください。(資料代含む。半日だけの参加でも会費は変わりません。)

( )情報処理学会会員	4,000円	( )情報処理学会会員の大学院生	1,000円
( )一般	6,000円	( )大学院生	2,000円
( )大学生, 高校生	1,000円		

○懇親会 会場 九州大学工学部教官食堂 6時より 会費 ( )3,000円

○合計金額 \_\_\_\_\_円 月 日送金します。下記の送金方法を丸で囲んでください。  
a. 現金書留, b. 銀行振込 福岡銀行箱崎支店普通預金 1272841 情報処理学会九州支部講習会

○その他(連絡事項をご記入ください)

## 支部大会案内

——電気関係学会九州支部第39回連合大会——

期 日 昭和61年9月29日(月), 30日(火)  
会 場 福岡大学(福岡市城南区七隈 8-19-1)  
懇 親 会 29日(月) 18:00~20:00 福岡大学 文系センター棟・スカイラウンジ  
会費4,000円, 参加希望者は9月10日(水)までに代金を添えて申込むこと。  
論文集申込 論文集: 1部3,000円, 予約を原則とします。8月18日までに必ず代金を添えて申込むこと(郵送希望者は1部につき送料350円を添える。発送は大会終了後)。  
論文集および懇親会申込先 〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1  
九州大学工学部電気工学教室内 電気関係学会九州支部連合会  
Tel. 092 (641) 1101 (内線 5300) (振替口座番号 福岡 8-33001)

## 中部支部

### 支部大会案内

——昭和61年電気関係学会東海支部連合大会——

期 日 昭和61年10月7日(火), 8日(水)  
会 場 三重大学(津市上浜町 1515)  
論文集予約 6月号本欄参照のこと  
懇 親 会 10月7日(火) 夕刻 三重大学 生協第2食堂 会費3,000円(学生1,500円)  
参加希望者は当日総合受付にてお申込みください。  
問 合 せ 先 〒464 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部電気系教室内  
電気関係学会東海支部連合大会実行委員会本部 Tel. 052 (781) 2222

### 「半導体レーザーとその応用」講習会

期 日 昭和61年9月5日(金)~6日(土) 9:00~17:00 (6日は12:30まで)  
会 場 金沢大学工学部秀峯会館(金沢市小立野 2-40-20)  
参加費 一般2,000円, 学生500円(参加資格は問いません)  
問合せ先 金沢大学工学部(電気・情報)武部 幹 Tel. 0762 (61) 2101~6

### 講演会

期 日 昭和61年12月11日(木) 14:00~16:00  
会 場 富山大学工学部大講義室(富山市五福 3190)  
演 題 神経回路と情報処理—ネオコグニトロンとその発展—  
福島 邦彦(NHK技研)  
参加費 無料(参加資格は問いません)  
問合せ先 富山大学工学部電子工学科 吉田順作, 米田政明 Tel. 0764 (41) 1271

## 北海道支部

### 支部大会案内

——昭和61年度電気関係学会北海道支部連合大会——

期 日 昭和61年10月4日(土), 5日(日)  
会 場 北海道大学 (札幌市北区北13条西8丁目)  
懇 親 会 10月4日(土) 18:00~北海道大学生協中央食堂2階 (大学構内, 工学部南側)  
会費 3,500円 (学生 2,000円), 当日受付  
問 合 せ 先 〒060 札幌市北区北13条西8丁目 北海道大学工学部電気工学科事務室内  
電気関係学会北海道支部連合大会実行委員会  
Tel. 011 (716) 2111 (内線 6514)

### 本会協賛等の行事案内\*

InfoNet '86 ('86 企業情報ネットワークシステムショー)  
昭和61年9月24日(水)~27日(土) 東京流通センター  
国際シンポジウム「コンピュータワールド '86/人工知能・その応用」  
昭和61年10月7日(火)~8日(水) ロイヤルホテル(大阪・中之島)  
講習会「FA-LAN」  
昭和61年10月13日(月)~14日(火) 日本化学会講堂(東京)  
10月30日(木)~31日(金) 大阪科学技術センター  
法とコンピュータ学会創立10周年記念国際シンポジウム  
「Frontiers of the Computer Network Society——Legal & Technological Problems」  
1986年10月24日(金)~25日(土) 日本大学会館  
理化学研究所第9回科学講演会  
昭和61年10月29日(水) 経団連会館(東京)  
第4回 セミナーキャンプ「バイオテクノロジーと精密工学の接点」  
昭和61年11月10日(月)~11日(火) 日本光学工業研修センター  
シンポジウム「形状加工処理ソフトウェア工学の現状と将来」  
昭和61年11月28日(金) 光陽社ビルディング講堂(東京)  
第2回「OA全国総合大会」  
昭和61年12月3日(水)~4日(木) 東京農林年金会館・虎ノ門パストラル  
1st Int'l. Symposium on Interoperable Information Systems  
(第1回 情報処理相互運用国際シンポジウム)  
1987年2月25日(水)~27日(金) プレスセンターホール(東京)

\* 詳細は本号会議案内・雑報欄参照

昭和 年 月 日

## 研究会発表申込書

太線枠内のみご記入下さい。

研究会名	研究会										
発表希望の研究会開催日	昭和 年 月 日 ( )										
タイトル											
発表者名											
概要 (50 字以内)											
原稿用紙送付先住所	〒				Tel. — (内線 )						
氏名											

昭和 年 月 日受付

研究会名      資料 No.      開催日      幹事送付済み      その他

		昭和 年 月 日		
--	--	----------	--	--